



2021年9月7日

各 位

会社名 株式会社 C a s a  
代表者名 代表取締役社長 宮地 正剛  
(コード番号: 7196 東証第一部)  
問合せ先 取締役経営管理部長 高杉 雄介  
(TEL. 03-5339-1143)

2022年1月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年3月11日に公表しました2022年1月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年1月期の第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異

(2021年2月1日～2021年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,140	399	408	235	23.24
実績値 (B)	5,283	532	586	354	35.41
増減額 (B-A)	142	133	178	118	—
増減率 (%)	2.8%	33.3%	43.7%	50.3%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年1月期第2四半期)	5,021	368	398	231	22.87

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、代理店ごとに採算性の見直しを実施した結果、新規契約件数は前年同期を下回る結果となりましたが、新規の契約金額が想定を上回ったことにより、売上高は、業績予想を142百万円上回りました。

売上原価については、前連結会計年度の緊急事態宣言時に延伸していた訴訟案件の解決が進んだ結果、訴訟・処分費用が増加いたしました。保証引受審査及び債権管理体制の強化により求償債権の回収率が当初の想定を上回る速さで改善され、貸倒引当金繰入額が圧縮できております。また、販売費及び一般管理費の削減等もあり、営業利益率は2.2ポイント改善の10.1%となりました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、前回発表の予想数値を据え置くことといたしましたが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以上